

冬季の注意事項

1. バッテリーの点検

バッテリー液は規定通か、また比重は 1.240~1.280 以内にあるか。

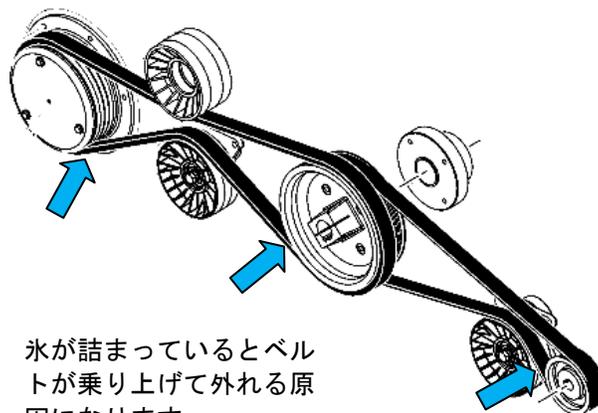
注) 液温度が下がると比重は上がる為注意が必要です。

例: 液温-15 度の時に比重が 1.24 の場合+20 度に換算すると 1.22 となり、あたかも十分の様ですが 60% ぐらいしかありません。

2. ユニット内部に積雪、氷雪が有れば極力排除して下さい。

3. ベルトとプーリーの氷結

ベルトを廻しロックしている時には絶対ユニットをスタートさせない。ベルトとプーリーの上に雪や氷が詰まっていると、乗り上げてベルト外れ、ベルト切れの原因になります。



氷が詰まっているとベルトが乗り上げて外れる原因になります。

4. 燃料の凍結に注意

一般的にディーゼル軽油は、JIS 2 号相当の軽油を使用しますが、寒冷地では JIS 3 号相当の軽油を使用してください。

また、種類の異なった燃料油が混入しないよう給油の場所（地域）に注意が必要です。

5. エンジン冷却水の点検

冷却水には凍結防止と防食機能を兼ねたロングライフクーラントが使用されています。

濃度は寒冷地でも凍結しない様に 50% です。

又、サーモキングでは 2000 年第一四半期以降生産分より長寿命クーラント (ELC) 赤色を採用しており、従来の緑色クーラントとの混合はしない様注意が必要です。

6. フェリー乗船時レセプタクルの点検

雪道走行後フェリー乗船時レセプタクル内に雪が詰まっていると漏電の原因になります。雪が入らないように確実にカバーが閉まる事を確認し、雪が入った場合にはコード接続の前に清掃、乾燥が必要です。

7. コンプレサーオイルシールについて

長期間ユニットを使用しない時には最低 1 ヶ月に一度はユニットを運転させてください。オイルを循環させる事でオイルシールを保護することができます。